

学校の概要

令和7年度、児童数521名で通常学級18、特別支援学級3学級の中規模校である。

校区は、廿日市市沿岸部のほぼ中央に位置し、北には極楽寺山や野貝原山があり、校区を囲むようになだらかな丘陵が海へ向かってのびている。校区の中央を南北に流れる可愛川に沿って、田園地帯が広がり、米や野菜・苗木づくりなどが行われている。中でも、ビニールハウスで栽培される平良イチゴは、味もよく有名である。

校区の東西を西広島バイパス・山陽自動車道・国道2号線などの幹線道路が横切っている。近年、宅地化が進み、山側の陽光台団地の造成により、児童数が増加したが、今は横ばいである。

本校の歴史は、明治6年に遡り、152年に及ぶ沿革を有している。平成14年に現在の陽光台に校舎が移転新築され、「木のまち廿日市」にふさわしい学校づくりをめざし、「自ら学ぶ 人と人がふれあう学校」として現在に至っている。教室棟は、木材を適所に活用した温もりと柔らかさのある木造建築である。多様なイベントの開催場となる平良っ子通り、学年ユニット空間としての教室配置、遊びの広場など、特色ある学校環境である。また、子どもたちのふれあいの場、交流の場であるとともに地域の多くの人々とも自然に交流することができる地域交流棟や廿日市市の児童館も校舎敷地内にある。

本校児童は、明るく伸び伸び育ち、純朴で優しく活動的である。祖父母との同居家庭も比較的多く、保護者・地域ともに学校教育に理解や関心が高く大変協力的で、PTA活動も活発である。

明治 6 年	「文会社」創立
明治 24 年	上平良尋常小学校と改称
明治 7 年	「下平良村議鬘」創立
明治 24 年	上平良尋常小学校と改称
明治 39 年	平良尋常高等小学校（上下を合併）
明治 41 年	尋常科修業年限6年高等科修業年限2年
昭和 16 年	平良国民学校と改称
昭和 22 年	平良小学校と改称
昭和 34 年	平和台（運動場）完成
昭和 46 年	プール完成
昭和 48 年	創立 100 周年記念式典挙行
平成 7 年	広島県道徳教育推進校道徳教育研究大会の開催
平成 6 年	金銭教育協議会研究大会で児童発表と実践発表の実施
平成 12 年	第1回平良っ子ふれあいフェスティバル開催
平成 13 年	広島県広島教育事務所委嘱研究発表大会（国際理解教育）
平成 14 年	平良小学校移転開校式典挙行 以前の所在地 廿日市市上平良1367-3 現在の所在地 廿日市市陽光台1丁目4-1
平成 15・16 年	文部科学省学力向上フロンティアスクール研究指定校の研究公開
平成 17 年	文部科学省スクールミーティング
平成 17 年	廿日市市教育研究委嘱事業教科担任制(5,6年生対象)及び主幹制導入
平成 17 年	広島県算数・数学教育研究大会小学校部会の会場校
平成 18 年	MOA美術館全国児童作品展文部科学大臣奨励賞学校奨励賞受賞
平成 18 年	文部科学省「人権教育総合地域事業」指定(～平成20年度)
平成 18・19・20 年	上記指定の公開研究会開催
平成 22 年	広島県生活科教育研究大会開催・公開研究会の実施
平成 24 年	学校支援地域本部事業スタート
平成 26 年	広島県小学校音楽教育研究大会開催・公開研究会の実施
平成 27 年	地域による学校支援活動推進にかかる文部科学大臣表彰
平成 31 年	広島県体力づくり奨励賞受賞
令和 5 年	創立 150 周年記念式典挙行